

佳作

わたしのまま

徳島県
美馬市立江原南小学校 三年

遠藤 彩香

まま、ねぼすけ。

「あー、ねすこしたあ。」

と、あわてて朝おきる。

「あやか、起きなさいよ。」

と、わたしを起す。もちろん、わたしもねぼすけ。

「早く、ごはんを食べて。きがえして。」

と、つぎつぎと大声がとんでくる。ままはしごとに行くのでひっし。わたしもひっし。なんかにている。この間、スパーでUFOキヤッチャーのゲームをした。くじをつかまえてしようひんがもらえるやつ。わたしは一回しかさせてもらえなかったのに、ままは十回くらいはしていた。そして、一回で五まいくらいくじをつかまえると、

「よっしゃー。」

と、ガッツポーズをきめた。よこに、わたしのともだちがいて、

「すーい。」

と、言ってくれたけど、はずかしかった。

だつてまま、わたしよりうれしそうにしてるんだもん。

ままは、かがみの前にわたしをよんで、わたしのうしろに立つて自分のオリジナル曲に合わせて、へんなおどりをさせる。おかしくて体がヒヨロヒヨロになる。

ままは、時々

「だっこしてえー。」

と、あまえる。おとななのに子どもみたい。

ままは、テレビを見て感動すると、

「あーつ、あーつ。」

と、なき

「ティッシュ、とつてえー。」

と、へんな声でいう。人のことなのに、そんなになけるなんてふしぎ。

ままは、自分がおちこむと

「ママのいい所、10こいうて。」と、いうと

「ままは、あやかのいい所、20こは言える。」

と、じしんあるようにいうので、がんばって考えると、ままはよろこぶ。わたしは考えた。ままは、わたしにいつばいちゅうもんするけど、わたしはままほどちゅうもんしない。

ままは、

「あやかの事は、おなかの中にいる時からだいたい分かるんよ。」

と、いう。

わたしが元気な時は、そつとよつてきてひぎにのせてギューとする。ママ、いたいて思うけど、なんか気持ちいい。ままってなんか分らないけどすこい。

しごとでやる、家にはいない時もあるけど、いつもそばにいる気がする。あんしんする。

ままは、

「あやかー。」

と、よくおこるけど、いつばいわたしのいい所をいつてくれる。ありがとうまま。へんなままだけど、わたしはままがだいすきです。